

「がん政策サミット2014 ～六位一体でがん対策を高め続けよう～」

がん対策の好事例を共有する

分野

「放射線療法・化学療法・手術療法の さらなる充実とチーム医療の推進 医療従事者の育成」

2014年5月17日

東日本放送

(前朝日新聞科学医療部)

岩崎賢一

【がん対策推進基本計画】

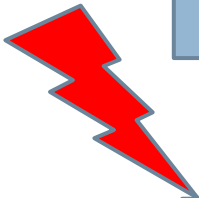
- がん医療を専門的に行う医療従事者を養成するとともに、チーム医療を推進し、放射線療法、化学療法、手術療法やこれらを組み合わせた集学的治療の質の向上を図る。



患者、家族にとって適切で質のいい医療を多くの人を受けられるようにできるか



整備数や従事者数がゴールでなく、機能して課題が改善されるのがゴール



最終目標

患者・家族が、どの地域においても、専門性の高い医療従事者を含む多職種チームにより、安心かつ安全で質の高い医療が受けられている。

(事務局定義)

これまで→医療提供体制の充実などに力点

これからは→患者や家族にとって改善されたか重要

- 誰にとって……患者や家族が
 - どの地域……どこに住んでいても
 - 誰に……専門性が高い＋多職種チームに
 - どんな……安心＋安全＋質が高い
- 達成度をはかる評価指標も、この観点からであるべき。

あなたの隣で～運用は？

- 集学的治療における治療計画と各治療現場での他の患者との優先順位
 - ガイドライン、カンファレンス
 - 患者による進行の違い
 - 受け付け順
 - 施設の機能とキャパシティ
- ワンストップと連携
 - 医療機関内でのチーム医療の充実と連携医療機関も含めたチーム医療の充実
 - 退院(転院)調整、連携の調整役、プラットフォーム
 - 治療成績のいい病院、質のいい病院に行きたい

あなたの隣で～社会構造の変化は？

□ 人口減(10年比で25年の指数)

青森県84.6 岩手県85.7

宮城県94.1 秋田県82.2

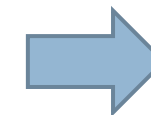
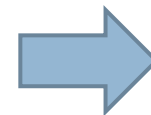
山形県86.0

埼玉県97.2 千葉県96.3

東京都100.1 神奈川県99.6

東北の人口増加市町村は、滝沢市、仙台市、名取市、利府町、富谷町のみ(福島県のぞく)

□ 独居世帯増



- ・医療圏の変化
- ・圏外への受診
- ・チーム医療従事者の確保難
- ・経営のバランスと均てん化と質の向上(診療報酬と配置基準と患者数)
- ・提供者側の市場原理

- ・在宅復帰困難者への対応
- ・保証人
- ・がまん

あなたの隣で～負担能力の差は？

□ 治療費の負担

→ 高額療養費の限度額アップ

→ 民間保険の落とし穴

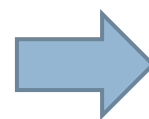
→ 働き盛り世代の苦悩

→ 非課税世帯の増加

□ 公的保険と保険外併用の拡大

→ 公的保険のカバー領域

□ 地域による患者像の違い

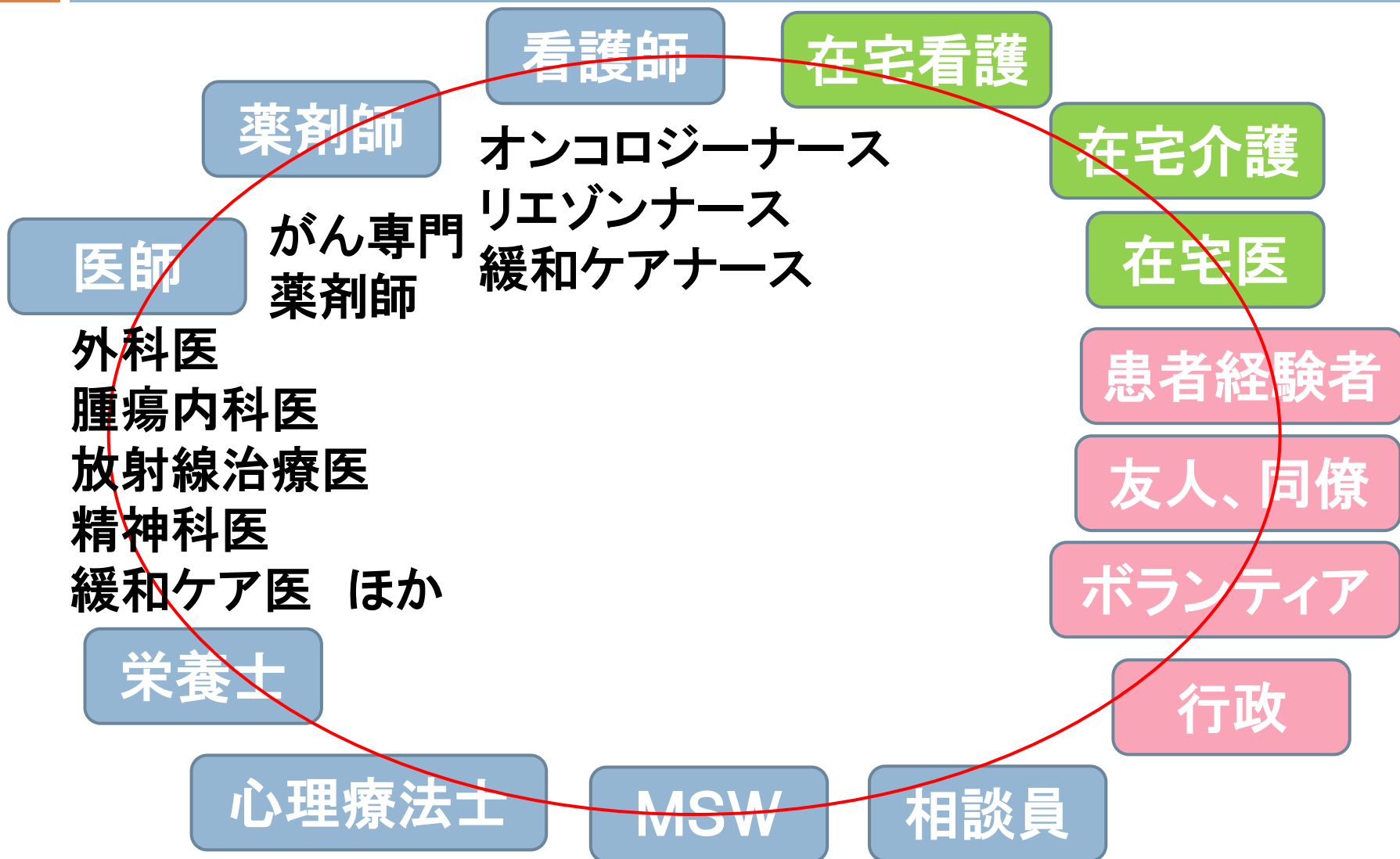


- ・ 機会の平等
- ・ 低所得者層の増加
- ・ 地域格差



「最終目標」は、将来的にどこまでをカバーするのか

あなたの隣で～チーム医療・ケアの「創造」への道は？





狭義のチーム医療と広義のチーム医療

- 専門・認定を得る環境整備
- 取得後の職場での活用(キャリアパス)
- 患者へのコミットの場の多様化
- 情報共有と秘密保持
- チームでの共通認識(選択、差し控え・・・)



使いやすい、使える制度や予算、職場の環境になっているか？

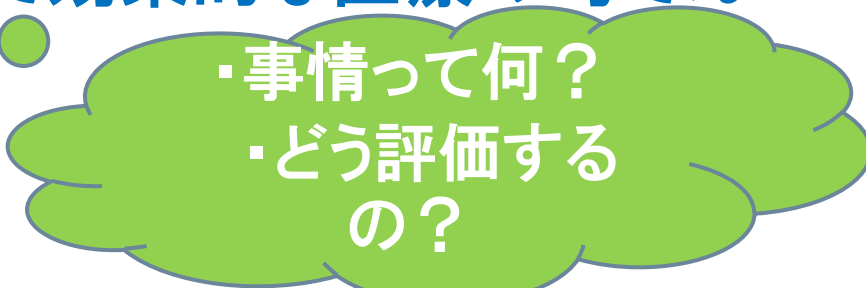
養成数、予算執行率だけではない

フォーカス・グループ
インタビューは
できないか？

患者関係者が選んだ好事例は？

(自県で実施されている事例→A施策・事業に関するもの)

- 拠点病院で地域連携のための研修補助(各地)
- 口腔ケアの充実(各地)
- 地域連携クリティカルパス(各地)
- 医師、看護師ら専門・認定資格のための研修(各地)
- **がんの種類、進行度に応じた集学的治療を行う体制づくり(岐阜県)**
- **個々の事情に応じて適切で効果的な医療の均てん化(京都府、愛知県)**



・事情って何？
・どう評価するの？

都道府県担当者の提供資料は？

- 空欄が多い→独自施策でないため記入していないかも？
- 研修や育成事業
- 施設整備や人員配置



- 国の補助金と補助要件
- がん対策推進基本計画
- 施設要件や数値目標

点検のポイントを見直そう！

- 施策の説明書からは見えない問題がある
- インナーサークルに入ること満足していないか
- ゴールは何か？

- 治療機会の平等
- 連携時代の光と影

- (現役世代の患者、家族を支える仕組み)
- (治療以外の生活や受診の機会を支える仕組み)

改善のための、ものさしの工夫が必要

最後に

サミットへの
問題提起

- ・テーマの「チーム医療体制構築と専門的医療従事者の育成」だけでは最終目標は実現しない。

- ・社会は生き物。人間は自由意思を持つ。



点検の目線の
回帰

- ・プロからアマへ。



配慮

- ・強くなれない患者や家族もいる。
- ・情報・知識を上手に得られない患者や家族もいる。

私たちは今、どこを見るべきか？



ありがとうございました。